

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和2年度)

施策コード	P4101
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	4 環境の未来	施策の体系	01.便利で快適な生活環境づくりのための生活道路・公園施設の充実
施策の方針	<p>身近な地区の生活道路環境及び公園・憩いの空間づくりについて、地区別計画に基づくまちづくり活動と整合した支援をしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の状況に応じた生活道路網の充実を図る ・各地域のニーズに応じた身近な公園づくりを推進する ・便利な案内サインの整備推進 		

担当部署	主管課	建設下水道課
	関係課1	地域振興課
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【道路施設の充実】 生活道路として必要な幹線道路のネットワーク計画を策定すると共に、町民生活における交通環境の改善を図り、地域住民が安心して生活できる道路網を構築する。 ・ 【道路維持管理事業】 道路・橋りょうの機能保持及び損傷部分の修理又は、施設の更新を目的とした道路維持管理事業を行っており、路面の異常、障害物等に起因する事故を防止し、安全に走行出来る空間や視認性の実現につながるものである。令和2年度までは、地区要望及び道路パトロール等により確認できた舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修等を行っている。 ・ 【住民参加による維持管理の推進】 地域の生活環境を良好に維持するため、地区に対して道路補修材の提供や重機の貸し出しを行うなど道路維持管理を推進している。 ・ 【各地区における憩いの空間づくり事業】 憩いの場は地区づくり活動で整備を推進している。なお、地区公園の整備は、地区要望により検討する方針である。 ・ 【公共サインの検討及び整備】 主要道や市町村境界に町名を示すサインや施設への案内看板の設置・維持管理を行う。
--------------	--

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R2事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	道路施設の充実(道路新設改良業務)	215,240	建設下水道課	道路改良率(%)	65.3	65.3	66	66			68	B
2	道路維持管理事業(道路・橋りょう等維持修繕業務)	51,367	建設下水道課	橋梁点検率(%)	88.6	100	100	100			100	A

3	住民参加による維持管理の推進	0	建設下水道課	各地区への原材料の支給(地区)	14	10	10	10			39	B
4	各地区における憩いの空間づくり事業	0	地域振興課	憩いの場、地区公園の整備	0	0	0	0			実施	C
5	公共サインの検討及び整備	636	地域振興課	統一サインへの順次切替	なし	なし	なし	3			順次切替	B
6												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・【道路施設の充実】地元優先で農閑期や休耕時期に工事発注せざるを得ず、工期が年度末となり、職員や請負業者の負担となっている。適正工期と品質を確保するために発注時期の平準化が望まれる。 ・【道路維持管理】町内道路の舗装や構造物などに老朽化が見られるため、計画的な維持修繕の実施が喫緊の課題であり、これに必要な予算の確保が求められる。 ・【住民参加による維持管理の推進】各地区からの必要数を適確に把握していく。 ・【各地区における憩いの空間づくり事業】地区で管理する地区公園は、施設を管理する地域住民の担い手不足などにより維持管理が困難になりつつある。 ・【公共サインの検討及び整備】公共サインの支柱は木製であり、今後、交換時は使用材質を考慮する必要がある。また、経年劣化に伴う補修が今後増加する見込みであり、各々のサイン毎に撤去も含め管理方法を検討する。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・【道路施設の充実】発注者・受注者の負担を軽減し適切な工期を確保するため、発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。 ・【道路維持管理】修繕・工事において、地区の要望を達成する。 ・【住民参加による維持管理の推進】今後も地区からの申し出により道路補修材等の支給及び機材の貸し出しを行う。 ・【各地区における憩いの空間づくり事業】憩いの場や地区公園などについては、維持管理を地域住民自らが行う体制づくりを前提とするなど、ルールづくりや意識の醸成が必要である。 ・【公共サインの検討及び整備】サインについては設置後の維持管理費用が伴うことから、必要箇所を精査する必要がある。補修が必要な物件の早期発見により、補修費用を必要最小限に抑えられるよう既存の公共サインの状況確認及びリスト化を実施する。

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【公営住宅等ストックの長寿命化事業】長寿命化計画を変更し実施しているが、現状を見ながらの実施が必要である。 ・【宅地分譲・住まいの確保】宅地分譲についての適切な候補地等、内容を整理し事業の方向性を決定する必要がある。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【公営住宅等ストックの長寿命化事業】氷川町公営住宅等長寿命化計画を現状に合わせて変更しながら、計画的な改修を実施し、長寿命化を図る。 ・【宅地分譲・住まいの確保】老朽化した町営住宅を解体後、民間との建築協定による宅地分譲等の検討を行っていく。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和2年度)

施策コード	P4103
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	4 環境の未来	施策の体系	03.移住定住にむけた魅力的な生活環境整備と情報発信
施策の方針	<p>移住定住の促進にむけて、魅力的な生活環境整備と情報発信をしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家を活用した住まいの提供 ・ 移住定住の促進にむけた情報発信やイベントの開催 		

担当部署	主管課	地域振興課
	関係課1	建設下水道課
	関係課2	企画財政課
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【空き家活用事業】 空き家の有効活用につなげるため、空き家バンクに登録された物件を、町内への移住定住を目的とする空き家利用希望者に紹介している。さらに空き家バンク促進補助金により空き家活用を促進している。 ・ 【婚活応援事業】 婚活イベントについては、八代市及び芦北町との「定住自立圏」で共同で開催している。また、登録制度及び婚活イベント参加支援助成金制度の利用を促している。令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により婚活イベントは中止となった。一方で婚活イベント参加によりマッチングした2人が成婚した報告があり、一定の効果が出てきつつある。 ・ 【町の魅力発信事業】 町のPRパンフレットやPR動画のほか、氷川町キャラクター「ひかりん」を活用し、町内外のイベントなどでPR活動を行っている。また、令和2年度には町のホームページをリニューアルし、空き家バンク情報を含めた移住定住に関する情報を発信するサイト「ひかわ暮らし」を開設したほか、毎月発行している広報紙と併せて、フェイスブック、インスタグラム、LINEなどのSNSを活用して行政情報やまちの魅力を広く発信している。 ・ 【移住者に対する支援事業】 大都市圏で開催される県主催の移住相談会に年3回程度参加。平成30年度より八代市・芦北町と合同で参加し、相談ブースを合同で設け、相談後のフォローも連携して行っている。移住体験住宅を平成30年度に整備し、町のお試し暮らしを体験できる場を提供することが可能となった。コロナ禍の影響で対面での相談会が開催困難となり、令和2年度よりオンラインの相談会へ参加している。
------------------	---

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R2事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	空き家活用事業	8,097	建設下水道課	空き家バンク年間登録戸数(戸)	5	10	17	14			10	A
2	婚活応援事業	0	地域振興課	参加者数(人)	61	103	86 (※1回中止)	中止			150	B

3	町の魅力発信事業	6,094	企画財政課	町ホームページアクセス件数月平均(件)	15,153	23,718	24,337	31,304			20,000	A
4	移住総合情報発信ツール制作事業	0	地域振興課	移住相談会等での年間新規相談件数(件)	5	6	17	9			10	B
5	移住者に対する支援策の創設	2,102	地域振興課	移住施策活用による移住者数(人)	3	10	16	21			3	A
6	地区環境の保全と受け入れ態勢の検討	0	地域振興課	受入体制整備完了地区数(地区)	-	0	0	0			3	C
7												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題

- ・【空き家活用事業】徐々に増加していた空き家バンク登録物件数が若干少なくなったが、年間で10件を超える登録があつている。しかしながら、町内の空き家戸数は依然として多いため、1戸でも多くの空き家を解消させたい。
- ・【婚活応援事業】婚活イベントでマッチング後のフォローはプライベートな問題もあり、積極的な介入は難しい。
- ・【町の魅力発信事業】SNSにおいてはフォロワー数の増加が課題である。(フェイスブック195名、インスタグラム966名、LINE787名(R3.8.18時点))町の認知度向上のため、新たなひかりんグッズやPRグッズを考えていきたい。
- ・【移住総合情報発信ツール制作事業・移住者に対する支援策の創設】大都市圏での本町の認知度は依然として低く、移住相談はまだまだ少ない状況にある。コロナ禍の中で、都市圏で開催される相談会への参加や移住体験住宅の積極的な活用も難しい状況にある。空き家バンクへの物件登録も以前より増えてきたが、移住希望者とのマッチングがうまくいかないことが多い。

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

今後の施策展開

- ・【空き家活用事業】空き家バンクへの登録促進の継続実施(広報紙や固定資産税納税通知発送の際)
- ・【婚活応援事業】定住自立圏婚活事業として計3回の婚活イベントを行う。八代市、芦北町独自の婚活イベントについては、氷川町婚活登録制度に登録している方たちへメルマガや参加支援助成金事業などを利用しバックアップを継続していく。また、氷川町で結婚する夫婦に結婚新生活支援事業を実施することで、結婚までの支援を充実させる。
- ・【町の魅力発信事業】ひかりんの認知度は年々上がってきており、各種イベントでの出演依頼も増えてきている。より幅広い年齢層へ情報発信するために、平成30年度にインスタグラム、令和元年度にLINEを開設したところ、ひかりんフェイスブックのフォロワー数も増加したため、今後も定期的に発信していく。PRパンフレットとPR動画は好評のため継続していく。
- ・【移住総合情報発信ツール制作事業・移住者に対する支援策の創設】県主催のオンライン相談会等へ継続的に参加し、町の認知度アップを目指す。また、移住希望者への対応について八代市・芦北町と連携を強化し、定住自立圏全域で相談対応を行っていく。相談者や移住希望者に対し、継続的な情報発信を行う。移住体験住宅の積極的な活用とPRを行う。移住希望者に対して、住まい情報の提供を常時可能にするため、空き家バンクの物件登録をさらに充実させ、また民間業者とも不動産情報の連携強化を図っていく。

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【新幹線新駅南北アクセス道路整備事業】必要性を検証し、長期計画の方向性を決定する。 ・【宇城氷川スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業】現時点では、事業内容（ルート検討等）の明確化が出来ていない。 ・【生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業】住民ニーズと整備計画の一体化を図り、地域生活への貢献度が高い道路整備の実施を目指す。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【新幹線新駅南北アクセス道路整備事業】現在、役場前の幹線道路整備を実施しており、当事業については長期計画として方向性を決定する。 ・【シンボル道路整備事業】関係機関と十分な協議を行い、主要道路又は通学路として安全な道路改良計画を策定し、順次地元へ周知、理解を求めていく。 ・【生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業】地区要望の中から重要度並びに住民生活への貢献度が高い道路について、氷川町道路整備基本計画に基づき、道路整備を実施する。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>C</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【既存のバスサービス整備事業】公共交通の維持。 ・【交通手段の確保】目標に達してはいないものの、前年度より利用者は増加している。利用者からの評価は高いので、より多くの人に利用してもらえるような周知方法などを改善する必要がある。また、500円券の未使用が生じている。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【交通手段の確保】令和3年度で実証実験が終了するため、その時点での利用状況を整理し、事業を継続するのかどうか判断する。また、500円券は、3月末で終了するため、使用できる期間の周知を図る。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>小・中学校への E M 発酵液配布・啓発は行えており、今後も引き続き配布・啓発に取り組む。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>【 E M 発酵液の普及】広報紙・ホームページ等を活用した啓発及び宮原まちづくり株式会社と連携した出前講座等を実施し、各家庭での普及啓発を図る。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>A</p>
------------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【下水道処理の広域化推進事業】宮原処理区の流入量が、編入計画の想定より多く、不明水への対応が急務となっている。 ・【下水道施設維持・更新業務】ストックマネジメント計画により、改修作業を行ってきたが、今後は、計画外の管渠について、どのような維持管理の方法があるのか？検討していく必要がある。 ・【生活排水対策事業】下水道計画区域外の地域において、氷川町浄化槽設置整備事業補助金を活用し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境に負荷の少ない合併処理浄化槽へ転換させる働きかけを行っているが、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭もまだ多い状況である。 ・【加入促進対策事業、水洗便所改造促進事業】面整備がH29年度に終了し、下水道接続率、水洗化率の向上は、下水道事業の大きな課題となっている。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【下水道処理の広域化推進事業】不明水対策は、難しい課題であるが、熊本県と連携しながら、対応策について検討していく。 ・【下水道施設維持・更新業務】ストックマネジメント計画に伴う改築更新工事は、令和3年度で終了予定。その他の老朽化してきている管渠等の維持管理について、検討を行う。 ・【生活排水対策事業】町広報紙・ホームページ等を活用して氷川町浄化槽設置整備事業補助金について町民に周知し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を働きかけていく。 ・【加入促進対策事業、水洗便所改造促進事業】町広報紙、ホームページ等による加入促進の実施に加え、チラシ配付や臨戸訪問など、より積極的な取り組みを行う。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none">・【水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出】随時、対象箇所状況を把握する必要がある。・【農集維持管理事業】施設の維持管理のため継続的な予算確保が必要。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none">・【水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出】年間の草刈等の回数を増やし適正管理を実施する。・【農集維持管理事業】今後も継続的な施設の維持管理を行っていく。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
B: 目標に向かってある程度進んでいる
C: 目標に向かってあまり進んでいない
D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【氷川を楽しむための総合的な環境整備の推進】氷川河川区域の雑木・雑草及び土砂の堆積により、河川の景観や環境の悪化が懸念されている。 ・【氷川に親しむ学習機会の創出】例年子ども達の夏休み時期に開催しているが、参加人数は減少傾向にある。 ・【川沿いの緑化支援】地区づくり活動で川沿い緑化の取り組みを行う地区が一部にとどまっており、継続的な活動としていけるかが課題。 ・【ホタルを守るための河川・水路環境の改善】治水、利水を目的とした水路の改修整備を主としており、多自然化を目的とする事業の取り組みについては、事業内容、担当課等も含め、施策の見直しが必要と思われる。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【氷川を楽しむための総合的な環境整備の推進】2級河川氷川を管理している熊本県に対して、課題解決に向けて事業を実施してもらうよう、要望活動を継続する。 ・【氷川に親しむ学習機会の創出】例年参加人数が少なく、内容も変わり映えがない。次年度以降の事業継続について必要性の有無を検討し、必要と判断されれば内容を刷新して参加者の増加を目指す。 ・【川沿いの緑化支援】川沿いの緑化の取組に対し、地区への周知啓発と補助金等による財政的な支援を行っていくとともに、くまもと緑・景観機構の実施する緑化支援事業等の周知を図る。 ・【ホタルを守るための河川・水路環境の改善】治水、利水を目的とした水路の改修整備を主としており、多自然化を目的とする事業の取り組みについては、事業内容、担当課等も含め、施策の見直しが必要と思われる。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【氷川流域関係団体と連携した水辺環境づくりの推進】清掃活動の一般参加者を募集するが、参加者が非常に少ない。 ・【水を大切にす意識啓発の推進】節水に対する意識啓発はわずかに進んだが、今後も情報提供などによる意識啓発を進める必要がある。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【氷川流域関係団体と連携した水辺環境づくりの推進】単に参加者を募集するだけでなく、氷川の現状や課題なども含めて情報発信するなど、関心を持ってもらう取り組みを行う。 ・【水を大切にす意識啓発の推進】広報紙・ホームページ等を活用した各種情報提供と啓発活動を進める。更なる意識啓発のため、取り組みやすい啓発グッズの配布を行う。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【花いっぱい運動の推進】令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、地区づくりの事業が実施できない区もあり16地区の実施に留まった。 ・【多面的機能支払交付金事業】事業に取り組むための保全隊を組織する地区も増加しているなど、地区独自での基盤整備に取り組む意識向上が見られる。未結成の地区もあるため、事業のPRを図っていくなど更なる拡大が必要である。事業費もある程度確保できており、積極的な活用が望まれる。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【花いっぱい運動の推進】くまもと緑・景観共同機構による花いっぱい運動支援事業により種子や苗の支給があることから、本制度を利用し、既存の交付金を花植えの維持・管理に利用ができれば活動の拡充が図れると思われる。 ・【多面的機能支払交付金事業】現在30地区で広域協定を締結して活動を実施しており、効率的な事業推進が図られている。組織結成が望まれる地区へ前向きな検討を促し、町内全域における積極的な事業活用に努める。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>A</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【竜北公園周辺における里山活用の推進】現状を維持する。 ・【立神峡公園における環境学習による里山環境の改善】広い世代への環境学習の場の提供。里山活用の運営体制を確立。
<p>今後の 施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【竜北公園周辺における里山活用の推進】現状を維持する。 ・【立神峡公園における環境学習による里山環境の改善】指定管理者と協議しながら実施体制や方法を検討する。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>C</p>
------------------	----------

【今後の方針】

施策の課題	・まちづくり条例の適用区域外での建築協定や景観の形成が図ることができない。
今後の施策展開	・まちづくり条例の適用区域の検討、または見直しが必要と考える。

【評価指標】

A:目標に向かって順調に進んでいる
B:目標に向かってある程度進んでいる
C:目標に向かってあまり進んでいない
D:目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標:数値目標
総合評価の目標:施策の方針

総合評価	C
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町国土利用計画及び町土地利用計画を策定しており、運用にあたってはまちづくり条例での誘導が可能となっている。しかし、現在のまちづくり条例の適用区域が宮原地区に限定されているため、竜北地区における誘導が課題である。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在のまちづくり条例の適用区域が宮原地区となっているため、町国土利用計画及び町土地利用計画との整合性を図り、また、熊本県景観計画（県景観条例）等を参考にしながら、まちづくり条例全般の見直しが必要である。しかし、まちづくり条例における事業者と地元住民との計画段階での合意形成は有効と考えられる。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【里山暮らしの体験】広い世代に環境学習活動を提供する事業（イベント形式による大規模な参加者募集等）が近年実施できていない。地域との協力体制の構築が必要である。 ・【立神峡公園施設の活用・維持管理】公園内施設や設置物、看板等にも老朽箇所が見られ、維持コストも高いことから、公園管理及び利用において既存施設のうち今後も必要となる箇所を取捨選択していく必要がある。 ・【学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施】清掃活動は開催できたが、新型コロナの影響により、生物観察会などの体験事業が実施できていない。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【里山暮らしの体験】指定管理者の実施する体験型学習の維持と併せ、地域の協力体制を構築したい。森林インストラクターを活用した環境学習を実施し、自然資源を残した環境学習の場としての利用促進を図る。 ・【立神峡公園施設の活用・維持管理】指定管理委託料の増額に加え修繕費も増えている。施設設置後利用料金の見直しがなされておらず、今後は利用料金条例改正や県立自然公園維持に係る県補助を利用し、維持費の確保に努める。 ・【学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施】イベント実施の方法、SNSやデジタルコンテンツを活用した海に関する広報の検討が必要と思われる。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・【里山環境インストラクターの養成・発掘】森林インストラクター協会と指定管理者との連携</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・【里山環境インストラクターの養成・発掘】県の補助事業を受けるにあたっては必須事項であることから、受け入れ体制の構築について管理者と協議し、確実に実施する必要がある。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>D</p>
------------------	----------

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和2年度)

施策コード	P4601
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	4 環境の未来	施策の体系	01.家庭や身近な地域から始まる循環型社会づくりを目指したリサイクルやごみの減量化・分別活動の推進
施策の方針	<p>ごみの分別収集・リサイクル活動をはじめ、環境にやさしい暮らしを推進するための意識啓発や各種活動への支援を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集及びリサイクルの仕組みづくりと運営体制の充実を図る ・循環型の地域社会形成のための啓発活動を進める 		

担当部署	主管課	町民課
	関係課1	
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・【ごみ収集委託】生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として、町内のごみステーションに出された一般廃棄物の収集運搬。 ・【リサイクル推進事業】毎月第3日曜日に町内全地区で実施している20分別リサイクル収集により、廃棄物を資源としてリサイクルすることでごみの量が削減されている。 ・【生ごみ排出抑制、廃棄物再利用の環境整備】電気式生ごみ処理機及び生ごみコンポスト容器購入費の補助により、家庭から排出される生ごみの減量化が図られている。 ・【ごみ減量化推進】「分別区分早見表」の作成、広報等を活用した意識啓発。 ・【地球環境の保全、資源の再利用の推進】地球温暖化防止推進委員と連携した学習会（講座）の開催。
--------------	---

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R2事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	ごみ収集委託	21,841	町民課	ごみ発生トン数(t)	4,000	3,720	3,421	3,118			3,362.5 (R5)	A
2	リサイクル推進事業の拡充	0	町民課	資源ごみ回収量(t/年)	29	35	142	160			84	A
3	生ごみ活用による排出抑制の検討	595	町民課	家庭用助成件数、事業所用件数(t)	家庭用0件、事業用0件	家庭用20件、事業用0件	家庭用65件、事業用0件	家庭用22件、事業用0件、コンポスト12件			家庭用100件、事業所用5件	C
4	資源の再利用の推進	0	町民課	学習会参加者数(人)	未実施	未実施	40	中止			30	B
5	ごみ減量化推進啓発事業	0	町民課	ごみ発生トン数(t)	4,000	3,720	3,421	3,118			3,362.5 (R5)	A

6	廃棄物の処理・再利用の環境整備	0	町民課	ごみ発生トン数(t)	4,000	3,720	3,421	3,118			3,362.5 (R5)	A
7	地球環境の保全に向けた普及啓発及び活動の推進	0	町民課	地球温暖化防止活動推進委員(人)	2	2	1	1			2	B
8	子どもエコ学習・意識啓発	0	町民課	コンクール参加者(3年毎)(人)	未実施	911	未実施	未実施			200	C
9												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ごみステーションに出されている家庭からのごみの内容を見ると、資源としてリサイクルできる衣類・ペットボトル・プラスチック製容器包装などが混入しており、リサイクルに対するさらなる意識の向上が求められる。 生ごみ処理機を所有する世帯が少ない。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル収集品目に一部のプラスチック製品を追加し、可燃ごみの更なる減量化及びリサイクルの推進を図る。 「家庭の分別区分の早見表」を見直し、氷川町ホームページに掲載することで、住民がすぐに調べられるようなシステムを構築する。 広報紙・ホームページ等を活用し、ごみ減量化のため、住民・事業所へリサイクル推進に向けた啓発活動を行う。 生ごみ処理機で水分を蒸発させる、または生ごみコンポストで堆肥化することで生ごみの重量を大幅に削減できるため、その効果及び購入費補助について周知を行う。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギーの活用や省エネによる地球環境への負荷軽減等の情報提供及び意識啓発ができていない。
<p>今後の 施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・ホームページ等により「氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金」について周知を行う。また、クリーンエネルギーの活用や省エネ活動についても情報提供及び意識啓発を行う。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【環境美化一斉行動】清掃に参加される人が固定化しつつあり、参加率が向上しない。 ・【不法投棄防止事業】不法投棄者の特定ができず、不法投棄者への直接指導ができない。
<p>今後の 施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【環境美化一斉行動】各種団体と連携を図りながら清掃活動の参加者を増やす取り組みの検討・実施、並びに防災無線による参加者から周囲への呼びかけ促進により、参加率の向上を図る。 ・【不法投棄防止事業】不法投棄を未然に防止するため、効果的な不法投棄パトロール方法を検討・実施するとともに、不法投棄者を特定するため目撃情報の収集に努める。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------